

圧倒的な説得力で解き明かされる、  
スサノオ、卑弥呼、そして古代王権の真実。

鮮やかな推理と十年におよぶ探究が  
スサノオの犯した「弟殺し」を暴き出す！

はじまりは一つの夢だった。  
激しく言い争う、古代の王族とおぼしき兄妹。この男神と女神は誰なのか…。  
やがてこの夢は筆者を、二人の女神の存在へと誘い、  
果ては長く封印された、日本古代史の謎の在り処に辿りつかせる。



『姫神の来歴 古代史を覆す国つ神の系図』

高山貴久子

【判型】 四六判、224頁、ハードカバー  
【版元】 新潮社 【価格】 1500円（税別）

4月26日発売

はじまりの夢は、彼女の心の中に激しい憤りを与えました。正統な統治者が暴力によって追われる夢。もともと彼女は、権力に踏みじられ苦しむ人びとに並ならぬ同情を寄せていました。そして取材を始めた彼女の眼には、理不尽な征服者である「天つ神」と正統な統治者である「国つ神」という構図が浮かびあがります。しかしまなこ、神々として古代日本人の存在を信じ敬う人びとにふれ、また確かに存在したであろう土地土地を訪れるうちに、彼女の心は変化しました。

そして、取材が終わり、いよいよ書き上げようとしたその時に病に侵されました。それでもこの病すら、彼女が作品を昇華させる妨げにはなりません。十年の探究の果てに彼女が得たものは、自身が「おわりに」で記したように、「赦しと希望」でした。戦争、地震、そして多くの難病。数々の困難が襲ったこの国を守り続けたものこそが、赦しと希望に満ちた「日本人の心性」であると。

2013年3月、本書の完成を見ることなく、彼女はこの世を去りました。残された時間で著者校正を仕上げ、自らの責任を果たすと、神々に魅入られたように穏やかに旅立っていました。



高山貴久子  
こうやま・きくこ

作家。1962(昭和37)年、熊本県に生まれる。上智大学外国語学部フランス語学科卒業。出版社勤務の後、2001年、絵本『ワハムとメセト〜ふたごの国の物語』を、2002年に絵本『ばらの谷』、詩集『時の祀り』を、かんげき屋より上梓する。2011年、『ばらの谷』が小学校の国語の教科書(東京書籍「新しい国語六年・上」)に掲載される。本書に関する取材は2002年から始まり、完成まで十年を要した。2013年3月急逝。

全国の書店およびインターネット書店、  
新潮社サイトからお買い求めください。

【新潮社サイト】

<http://www.shinchosha.co.jp/book/333851/>

『姫神の来歴』特設サイト

本書や筆者のことをもっと知りたいという方は、  
下記までアクセスしてください。  
皆様のご感想・ご意見も募集しております！

<http://www.kangekiya.co.jp/himegami/> (かんげき屋HP内)